

中規模ホール整備基本計画に関すること

令和2年2月

木更津市民会館整備検討委員会

木更津市中規模ホール整備基本計画は、昨年3月に策定した木更津市中規模ホール整備基本構想に掲げる中規模ホールの基本理念の実現をめざし、中規模ホールが備えるべき諸機能や施設計画、建設候補地や施設配置の考え方、事業手法など、中規模ホール建設の具体的な方向性を明らかにする計画です。

この基本計画は、現市民会館の老朽化や狭あい化などへの対応に加え、耐震性の著しい欠如に対応するため、早期の市民会館の整備が要請されるなかで、市民の利便性の向上や交流施設としての居場所をめざし策定するものです。

本委員会では、昨年6月に市長から「中規模ホール整備基本計画に関すること」について諮問を受け、専門的な見地や市民としての視点をもとに、基本構想策定時に実施した文化団体によるアンケート結果や、市民ワークショップから示された意見、高校生ワークショップの実施等を通して幅広く市民意見を集約するとともに市内外の公立施設の状況や先進事例等を踏まえ、約半年という短期間ではありましたが、ほぼ月1回のペースで計9回の会議を行い、丁寧な審議に努めてまいりました。

とりわけ、木更津市における中規模ホールの役割、施設が備えるべき施設計画の部分については時間を割いて審議し、今日の市民ニーズに沿った内容、あるいは効率的な行政運営に必要とされる内容を、過剰になることなく必要最小限に盛り込めたものと考えております。

なお、管理運営方法については、今後の管理運営計画の中で詳細な検討を行うことから、本計画では、管理運営方法別の主な特徴や想定事業の例示等、基本的な考え方の整理としました。

また、整備手法については、事業を進めていく中での市の財政状況や建設時の社会情勢を考慮しなければならないこと、管理運営方法とあわせて本施設にふさわしい手法を検討する必要があることから、想定される事業手法の提示にとどめております。

現在、木更津市にあっては、道路網の整備等が進むことで地理的利便性が向上し、民間企業の進出が進み、人口の増加が続いています。

このような状況のもとで、新たな中規模ホール建設を進めていくにあたっては、この答申に示した内容を十分に尊重いただき、中規模ホールが、これまで木更津市に住んでこられた方、これから住まわれる方、これからも住まわれる方、すべての人にとっての「共有の財産」として、次世代に至るまで末永く活用されるよう整備されることを強く願います。